

1 はき 1-137 次の症例について、問いに答えよ。

40 歳の男性。残業が続き 1 週間前から項部、後頭部に締め付けられるような鈍痛と肩こりがある。

医療機関での検査では頭蓋内病変はないという。最も予想される疾患はどれか。

1. 片頭痛
2. 筋収縮性頭痛
3. 高血圧性頭痛
4. 群発性頭痛

2 はき 1-138 次の症例について、問いに答えよ。

「40 歳の男性。残業が続き 1 週間前から項部、後頭部に締め付けられるような鈍痛と肩こりがある。医療機関での検査では頭蓋内病変はないという。」鍼灸治療で適切なのはどれか。

1. 患部の筋緊張部への刺鍼
2. 頭部の血管拍動部への刺鍼
3. 胃経の要穴への刺鍼
4. 洞 刺

3 はき 1-139 次の症例について問いに答えよ。

「28 歳の女性。2 年前より右前腕から手部にかけて鈍痛を覚えるようになった。現在は上肢の脱力感、しびれに加え冷えも感じるようになり、上肢の挙上で症状は増悪する。」この患者に行うテストとして適切でないのはどれか。

1. ライトテスト
2. アドソンテスト
3. アプレーテスト
4. モーリーテスト

4 はき 1-140 「28 歳の女性。2 年前より右前腕から手部にかけて鈍痛を覚えるようになった。現在は上肢の脱力感、しびれに加え冷えも感じるようになり、上肢の挙上で症状は増悪する。」

病態に関連する治療経穴として適切でないのはどれか。

1. 天 鼎
2. 気 戸
3. 中 府
4. 大 包

5 はき 3-126 次の文で示す患者の病態から考えて緊張を改善すべき適切な筋はどれか。

「33 歳の女性。3 日月前から腕をあげて作業をすると上肢が重だるく、しびれるようになってきた。ジャクソンテスト陰性、ライトテスト陽性、3 分間挙上負荷試験陽性であった。」

1. 胸鎖乳突筋
2. 僧帽筋
3. 小胸筋
4. 棘上筋

6 はき 4-129 次の文で示す患者の治療で適切なデルマトーム領域はどれか。

「35 歳男性。1 年前から前腕外側から手にかけて痛みがある。スパーリングテスト陽性。母指と示指との触覚鈍麻があり、合谷、曲池、および列欠に圧痛がみられる。」

1. C₅
2. C₆
3. C₇
4. C₈

7 はき 5-130 次の文で示す患者への低周波鍼通電療法で適切なデルマトームはどれか。

「40 歳の男性。1 か月前から腰痛および下腿前外側から足背にかけての痛みとしびれ感とがある。ブラガーD徴候陽性。」

1. L1
2. L3
3. L5
4. S2

8 はき 7-133 次の文で示す患者の病態から考えて罹患部への局所治療として適切な経穴はどれか。

「26 歳の女性。やせていてなで肩。主訴は右上肢全体の持続的なだるさで、アレンテスト、ジャクソンテストは陰性。エデンテストは陽性である。」

1. 気 戸
2. 巨 骨
3. 扶 突
4. 肩 井

9 はき 7-134 次の文で示す患者の病態に対する治療で適切なデルマトームはどれか。

「45 歳の男性。手背から中指にかけてしびれと知覚鈍麻とがある。肘関節伸展時の筋力低下、ジャクソンテスト陽性。」

1. C5 2. C6 3. C7 4. C8

10 はき 7-136 次の文で示す患者の病態から考えて罹患部への局所治療として適切な刺鍼部位はどれか。「60歳の男性。3か月前より右腰から殿部にかけて痛む。体幹の前屈時痛はないが、右斜め後ろに反らせた時、痛みが出現する。腰部正中より外方約2cmに圧痛がある。」

1. 右腰方形筋
2. 右脊柱起立筋
3. 右仙腸関節
4. 右腰椎椎間関節

11 はき 7-140 次の文で示す患者の病態に対する施術目的で最も適切なのはどれか。

「76歳の男性。主訴は右下肢痛。間欠性跛行があり、足背動脈及び後脛骨動脈の触知が困難である。下肢の知覚や深部反射に異常はない。」

1. 腰部の神経根への圧迫の改善
2. 腰部の筋緊張改善
3. 下肢の末梢循環改善
4. 下肢の筋力増強

12 はき 8-136 次の文で示す患者の病態に対し、適切な刺鍼部位はどれか。

「30歳の男性。椎間板ヘルニアを発症し腰下肢が痛む。患側では足指屈曲時の筋力低下、足底部の知覚鈍麻、アキレス腱反射の減弱がみられる。」

1. L2-L3間の直側
2. L3-L4間の直側
3. L4-L5間の直側
4. L5-S1間の直側

13 はき 9-134 次の文で示す症状に対し、罹患筋への局所治療穴として適切なのはどれか。

「足関節の屈曲および外がえし運動で下腿部の痛みが増悪する。」

1. 足三里
2. 陽交
3. 合陽
4. 三陰交

14 はき 9-135 次の文で示す患者の病態に対する低周波鍼通電療法の通電部位として適切なのはどれか。

「55歳の男性。頸を右へ側屈すると上肢に鈍痛が起こる。右前腕外側に知覚鈍麻がみられる。」

1. C4-C5間の直側と肘膠
2. C5-C6間の直側と偏歴
3. C6-C7間の直側と大陵
4. C7-C8間の直側と神門

15 はき 9-136 次の文で示す患者の病態に対し、適切な刺鍼部位はどれか。

「45 歳の男性。右肩前面の痛みを訴える。外転外旋時に痛みがあり、スピードテスト及びヤーガソンテスト陽性。」

1. 棘上部
2. 棘下部
3. 結節間溝部
4. 烏口突起部

16 はき 10-133 次の文で示す患者の病態に対し、局所治療穴として適切なのはどれか。

「30 歳の女性。保険の外交員。半年前からカバンを持って歩いていると腕がしびれて痛くなる。なで肩。エデンテスト陽性。」

1. 曲 垣
2. 気 戸
3. 天 鼎
4. 秉 風

17 はき 10-136 次の文で示す運動麻痺に対し、罹患神経への局所治療穴として適切なのはどれか。

「母指球が萎縮し、母指と小指の対立運動が困難である。」

1. 手五里
2. 小 海
3. 内 関
4. 消 瀾

18 はき 10-137 次の文で示す患者の病態に対し、罹患局所への治療部位として適切なのはどれか。

「左殿部から大腿後外側に痛みが放散する。下肢伸展挙上テスト陽性。ボンネットテスト陽性。」

1. 腰三角部
2. 腰方形筋外縁部
3. L4—L5 椎間関節部
4. 梨状筋部

19 はき 11-131 次の文で示す患者の病態に対し、施術対象となる罹患神経はどれか。

「45 歳の女性。嚥下時に舌根部から下顎にかけての放散痛が数十秒間出現し、唾液分泌の亢進を伴うことがある。」

1. 三叉神経
2. 顔面神経
3. 舌咽神経
4. 舌下神経

20 はき 11-139 「65 歳の男性。特に思いあたる原因がなく右前腕外側から母指にかけて痛みが出現するようになった。腕橈骨筋反射減弱。母指背側部に知覚鈍麻がある。ホフマン反射陰性。」最も考えられる疾患はどれか。

1. 頸椎症性神経根症
2. 頸椎症性脊髄症
3. 斜角筋症候群
4. 過外転症候群

21 はき 12-132 次の文で示す運動麻痺に対し、罹患神経への局所治療穴で適切なのはどれか。

「手の母指内転運動の障害があり、骨間筋の萎縮がみられる。」

1. 郄 門
2. 曲 池
3. 小 海
4. 臂 臑

22 はき 12-134 次の文で示す患者の病態に対して施術の対象となる罹患靱帯で適切なのはどれか。

「20 歳の女性。陸上の長距離選手。最近、ランニング中に左膝関節の外側部に痛みを感じる。グラスピングテスト陽性。内反ストレステスト陰性。」

1. 膝蓋靱帯
2. 腸脛靱帯
3. 前十字靱帯
4. 外側側副靱帯

23 はき 12-137 「30 歳の男性。就眠後 2～3 時間して、右目の奥にえぐられるような激痛が、発作性・周期性に生じる。顔面紅潮、目の充血、流涙がみられる。怒りっぽい。脈は弦数。」最も考えられる疾患はどれか。

1. 三叉神経第 1 枝痛
2. 片頭痛
3. 群発頭痛
4. 緊張型頭痛

24 はき 12-139 「65 歳の男性。1 年ほど前から歩行時に左腰部、下腿外側に疼痛が出現するようになった。ケンプ徴候陽性。足背部に知覚鈍麻がみられる。SLR テスト陰性。」最も考えられる疾患はどれか

1. 閉塞性動脈硬化症
2. 腰部椎間板ヘルニア
3. 腰部脊柱管狭窄症
4. 骨粗鬆症

25 はき 14-136 「17 歳の男性。2 ヶ月前から陸上の練習中に右脛骨の下 1/3 に疼痛があり、徐々に走行が困難となった。エックス線像に骨折の所見は見られない。知覚異常はないが足の屈曲（底屈）内反の抵抗運動で疼痛が誘発される。」最も考えられるのはどれか。

1. 有痛性外脛骨
2. オスグット病
3. コンパートメント症候群
4. シンスプリント

26 はき 14-137 「17 歳の男性。2 ヶ月前から陸上の練習中に右脛骨の下 1/3 に疼痛があり、徐々に走行が困難となった。エックス線像に骨折の所見は見られない。知覚異常はないが足の屈曲（底屈）内反の抵抗運動で疼痛が誘発される。」施術対象とする罹患筋で適切なものはどれか。

1. 前脛骨筋
2. 後脛骨筋
3. 長腓骨筋
4. 短腓骨筋

27 はき 15-77 「40 歳の女性。3 か月前から歩行時のふらつき、めまいが出現した。また、2 か月前から左の難聴、耳鳴りと左顔面の感覚が鈍いことを自覚している。四肢の筋力低下はない。」

この患者でみられないのはどれか。

1. 指鼻試験は拙劣である。
2. つぎ足歩行は不能である。
3. 角膜反射は消失する。
4. 深部腱反射は亢進する。

28 はき 15-78 「40 歳の女性。3 か月前から歩行時のふらつき、めまいが出現した。また、2 か月前から左の難聴、耳鳴りと左顔面の感覚が鈍いことを自覚している。四肢の筋力低下はない。」

最も考えられる疾患はどれか。

1. メニエール病
2. 突発性難聴
3. 聴神経腫瘍
4. 脊髄空洞症

29 はき 15-79 「25 歳の男性。1 年前から飲酒量が増加し、食事回数は減少した。1 か月前から下腿浮腫、息切れ、膝蓋腱反射の消失がみられ、今朝から意識消失もみられるようになった。」

この意識障害について最も考えられるのはどれか。

1. ゲルストマン症候群
2. ギランバレー症候群
3. ウェルニッケ脳症
4. ペラグラ

30 はき 15-80 「25 歳の男性。1 年前から飲酒量が増加し、食事回数は減少した。1 か月前から下腿浮腫、息切れ、膝蓋腱反射の消失がみられ、今朝から意識消失もみられるようになった。」原因と考えられるのはどれか。

1. ビタミン B1 欠乏
2. ニコチン酸欠乏
3. ウイルス感染
4. 脳腫瘍

31 はき 15-135 「35 歳の男性。突然、左眼を閉じることができなくなり、口から唾液が漏れた。症状発現の数日前に耳介部に水疱ができ、耳の痛みを感じた。」出現する可能性のある症状はどれか。

1. 味覚障害
2. 斜視
3. 顔面部の知覚障害
4. ホルネル徴候

32 はき 15-136 「35 歳の男性。突然、左眼を閉じることができなくなり、口から唾液が漏れた。症状発現の数日前に耳介部に水疱ができ、耳の痛みを感じた。」

施術対象となる神経はどれか。

1. 第 3 脳神経
2. 第 4 脳神経
3. 第 6 脳神経
4. 第 7 脳神経

33 はき 15-137 「20 歳の男性。急に下腿に著明な浮腫が出現した。労作時呼吸困難はなく、肝機能は正常。高度蛋白尿と高脂血症を認めた。」浮腫の機序として適切なものはどれか。

1. 膠質浸透圧低下
2. 心拍出量減少
3. 門脈圧亢進
4. 静脈圧上昇

34 はき 16-137 「65 歳の男性。主訴は左下肢痛。平地を 200m ほど歩くと足が痛み、歩けなくなる。しばらく休むとまた歩けることができる。検査所見では左下肢動脈拍動減弱、ケンプ徴候陰性、膝蓋腱反射正常である。」

本症例でみられるのはどれか。

1. 前傾姿勢で休息すると楽になる。
2. 痛みは髄節性である。
3. 下腿の知覚が鈍い。
4. 下肢の冷感がある。

35 はき 16-139 「65 歳の男性。主訴は動作緩慢と振戦で上肢に歯車様固縮がみられる。不眠、抑うつ、便秘を伴い、舌質はやや淡白、脈状は細弱を呈する。」本症例でみられる異常歩行はどれか。

1. 痙性歩行
2. トレンデレンブルグ歩行
3. 小刻み歩行
4. 失調性歩行

36 はき 22-137 「35 歳の女性。1 年前からめまい発作に苦しんでいる。めまいは、回転性で悪心・嘔吐を伴うこともある。他に難聴、耳鳴り、耳閉感がみられる。グリセロール検査陽性。舌診では胖大舌、白膩苔、脈は滑を呈した。」本症例の所見として最も適切なのはどれか。【解答 2 つ】

1. 感音性難聴
2. 特定の頭位によるめまい発作
3. 失調性歩行
4. 温度眼振検査反応陽性

37 はき 22-138 「35 歳の女性。1 年前からめまい発作に苦しんでいる。めまいは、回転性で悪心・嘔吐を伴うこともある。他に難聴、耳鳴り、耳閉感がみられる。グリセロール検査陽性。舌診では胖大舌、白膩苔、脈は滑を呈した。」病証に基づく治療方針として適切なのはどれか。

1. 肝陽の高ぶりを抑える。
2. 胃の気を降ろす。
3. 固摂作用を高める。
4. 湿痰を除く。

38 はき 23-80 「70 歳の男性。嚥下障害と体重減少で来院し、食道癌と診断された。さらに右眼瞼下垂と縮瞳が認められた。」本症例にみられる合併症はどれか。

1. 上大静脈症候群
2. 反回神経麻痺
3. 顔面神経麻痺
4. ホルネル症候群

39 はき 23-121 次の文で示す症例で最も疑うべき障害部位はどれか。

「68 歳の女性。主訴は左殿部の痛み。ローゼル・ネラトン線を指標とした検査で左側に異常を認めた。ニュートンテスト陰性。」

1. 股関節
2. 恥骨結合
3. 仙腸関節
4. 腰椎椎間関節

40 はき 23-126 次の文で示す症例について、施術対象となる椎間関節部位で最も適切なのはどれか。

「19 歳の男性。体操競技選手。体幹のひねり動作時に腰部に違和感を訴え、近医にて分離すべり症と診断された。母趾の背屈力が弱い。」

1. L2－L3 間
2. L3－L4 間
3. L4－L5 間
4. L5－S1 間

41 はき 23-127 次の文で示す症例に対する鍼施術で治療対象となる筋はどれか。

「17 歳の女子。陸上部の長距離選手。練習開始時、脛骨内側縁の中 1／3 と下 1／3 の境界付近に軽い痛みを覚えるようになったが、日常生活に支障はない。エックス線像に異常は認めない。」

1. 長母指伸筋
2. 前脛骨筋
3. ヒラメ筋
4. 長腓骨筋

42 はき 24-78 「28 歳の女性。上肢の痛み、だるさ、しびれを訴える。上肢下垂時に症状が増悪する。首が長く、姿勢が悪い。モーレイテスト、アドソンテスト陽性。」本症例で治療対象となる筋はどれか。

1. 小胸筋
2. 斜角筋
3. 胸鎖乳突筋
4. 肩甲挙筋

43 はき 24-79 「50 歳の男性。大酒家である。軽度の意識障害で受診した。眼球の黄染、胸部のクモ状血管拡張と著明な腹水がみられた。また、上肢の不規則な運動が認められた。」本症例でみられる上肢の所見はどれか。

1. けいれん
2. バリスム
3. アテトーゼ
4. 振戦

44 はき 25-75 「7 歳の女兒。主訴は歩行異常。トレンデレンブルグ徴候がみられた。」罹患関節の種類はどれか

1. 鞍関節
2. ラセン関節
3. 臼状関節
4. 橢円関節

45 はき 25-76 「7 歳の女兒。主訴は歩行異常。トレンデレンブルグ徴候がみられた。」本症例で筋力低下をきたした筋の主な運動はどれか。

1. 罹患関節の伸展
2. 罹患関節を屈曲しながらの外転
3. 罹患関節の内旋
4. 罹患関節の外転

46 はき 25-77 「78 歳の男性。手がふるえ、動作が緩慢で、表情がなく、前かがみになりやすく、筋肉がこわばる。」本症例でみられる症状と所見の組合せで正しいのはどれか。

1. 手がふるえる —— 企図振戦
2. 表情がない —— 満月様顔貌
3. 前かがみになる —— 起坐位
4. 筋肉がこわばる —— 固 縮

47 はき 25-78 「78 歳の男性。手がふるえ、動作が緩慢で、表情がなく、前かがみになりやすく、筋肉がこわばる。」本症例の原因で適切なのはどれか。

1. 錐体路障害
2. 炎症性脱髄
3. ドパミン欠乏
4. アセチルコリン受容体障害

48 はき 25-128 次の文で示す症例で罹患筋を対象に施術する場合、最も適切なのはどれか。「32 歳の男性。野球チームでピッチャーをしている。最近、投球動作でフォロースルー期に肩後方の痛みを感じるようになった。」

1. 前鋸筋
2. 小胸筋
3. 肩甲下筋
4. 小円筋

49 はき 25-139 「58 歳の女性。主訴は右手掌の痛み・しびれ。痛みの部位は小指を除く手掌部である。」本症例に行った徒手検査法で陽性を示すのはどれか。

1. トムゼンテスト
2. ファレンテスト
3. インピンジメントテスト
4. チェアテスト

50 はき 26-76 「50 歳の男性。主訴は下肢の浮腫。血液検査は総蛋白 5.2g/dl, アルブミン 2.5g/dl、総コレステロール 280mg/dl。尿検査は尿糖 3+、尿蛋白 4+であった。」本症例でみられる浮腫の主な原因はどれか。

1. 静水圧の上昇
2. 血漿膠質浸透圧の低下
3. 血管透過性亢進
4. リンパ液のうっ滞

51 はき 26-77 「40 歳の女性。数年前より手指のこわばりを自覚していた。最近、症状の増悪と手指の関節痛、腫脹が認められ来院した。冷たいものに触ると手指が白くなることがある。検査では抗トポイソメラーゼ I 抗体(抗 Scl-70)が陽性であった。」本症例の手指の所見はどれか。

1. ゴットロン徴候
2. ばち指
3. レイノー現象
4. スプーン状爪

52 はき 26-78 「40 歳の女性。数年前より手指のこわばりを自覚していた。最近、症状の増悪と手指の関節痛、腫脹が認められ来院した。冷たいものに触ると手指が白くなることがある。検査では抗トポイソメラーゼ I 抗体(抗 Scl-70)が陽性であった。」本疾患の合併症として最も多いのはどれか。

1. ブトウ膜炎
2. ネフローゼ症候群
3. 逆流性食道炎
4. シェーグレン症候群

53 はき 26-79 「62 歳の男性。右側の腰から下肢にかけての痛み、しびれがある。歩くと痛みは強くなり歩けなくなるが、休むと再び歩けるようになる。足関節・上腕血圧比は 1.0 であった。」本症例の徒手検査所見で陽性を示すのはどれか。

1. SLR テスト
2. ケンブ徴候
3. 大腿神経伸展テスト
4. K・ボンネットテスト

54 はき 26-80 「62 歳の男性。右側の腰から下肢にかけての痛み、しびれがある。歩くと痛みは強くなり歩けなくなるが、休むと再び歩けるようになる。足関節・上腕血圧比は 1.0 であった。」歩行中に右下肢痛が起こったときの対応として、体幹の姿位で最も適切なものはどれか。

1. 前屈
2. 後屈
3. 右側屈
4. 左側屈

55 はき 26-122 次の文で示す症例に対して障害部位を走行する経脈の同名経の治療穴で最も適切なのはどれか。
「52 歳の男性。主訴は膝外側の痛み。最近、趣味である朝のジョギング時に膝外側の痛みを自覚したことから来院。徒手検査でグラスピングが陽性であった。」

1. 下 廉
2. 大 陵
3. 会 宗
4. 少 府

56 はき 26-123 次の文で示す症例に対して障害神経を考慮して循経取穴を行う場合、最も適切な治療穴はどれか。「46 歳の女性。最近、指尖で物をつまむピンチ動作ができなくなったため来院。ティアドロップ徴候は陽性。知覚障害は認められなかった。」

1. 肘 髎
2. 小 海
3. 消 灤
4. 曲 沢

57 はき 26-132 次の文で示す症例に対し、局所治療穴を定めるための徒手検査で陽性になる可能性が最も高いのはどれか。「21 歳の男性。大学で水泳部に所属し、専門はフリースタイル。肩の外転、屈曲時に肩前外側に痛みを呈する。」

1. イートンテスト
2. エデンテスト
3. インピンジメントテスト
4. リフトオフテスト

58 はき 26-134 次の文で示す症例に対する治療穴で最も適切なのはどれか。

「35 歳の女性。職業は事務員。右前腕前面近位部の疼痛と第 1 指から第 4 指橈側半の掌側および母指球にしびれがある。前腕の回内動作に抵抗を加えると症状が増悪する。ファレンテスト陰性。」

1. 手三里
2. 孔 最
3. 大 陵
4. 四 瀆

59 はき 26-139 「36 歳の女性。締め付けの強い下着をはくようにしたところ、最近、太ももの外側部に痛みとしびれが起こったので来院した。運動麻痺はない。MRI では腰椎の異常はなかった。」本症例の障害神経はどれか。

1. 第 1・第 2 腰神経から起こり、大腰筋を貫く神経
2. 第 2・第 3 腰神経から起こり、大腰筋と腸骨筋の間を斜め外側下方に走る神経
3. 第 4・第 5 腰神経および第 1・第 2・第 3 仙骨神経から起こり、梨状筋下孔を通過する神経
4. 第 2・第 3・第 4 腰神経から起こり、筋裂孔を通過する神経

60 はき 26-140 「36 歳の女性。締め付けの強い下着をはくようにしたところ、最近、太ももの外側部に痛みとしびれが起こったので来院した。運動麻痺はない。MRI では腰椎の異常はなかった。」本症例に対する刺鍼部位として最も適切なのはどれか。

1. 上後腸骨棘と大転子を結んだ中点より垂直に約 3cm 下がった部位
2. 第 4 腰椎と第 5 腰椎棘突起間の外側約 2cm の部位
3. 上前腸骨棘より約 2.5cm 内方でそこから下に約 2.5cm の部位
4. 鼠径靱帯の直下で大腿動脈拍動部の外方約 1cm の部位

61 はき 27-75 「50 歳の男性。主訴は体重減少。口渇、下肢の感覚鈍麻を認める。BMI30。空腹時血糖 180mg/dl、HbA1c89%。」本症例の神経学的所見で正しいのはどれか。

1. 感覚障害は左右非対称である。
2. 振動覚は正常である。
3. アキレス腱反射は亢進する。
4. 発汗異常を認める。

62 はき 27-76 「50 歳の男性。主訴は体重減少。口渇、下肢の感覚鈍麻を認める。BMI30。空腹時血糖 180mg/dl、HbA1c89%。」本疾患について正しいのはどれか。

1. 免疫機能は亢進する。
2. HbA1c は過去 2 週間の平均血糖値を反映する。
3. 急性合併症には昏睡がある。
4. 大血管障害には腎症がある。

63 はき 28-55 次の文で示す症例の確定診断のために最も重要な検査はどれか。

「25 歳の男性。10 日前に上気道 炎に罹患、3 日前から両下肢の粗大筋力が低下、後に両上肢へと進展した。」

1. 頸椎 MRI 検査
2. 末梢神経伝導速度検査
3. 血中 CK 値測定
4. 遺伝子検査

64 はき 28-130 次の文で示す症例について、陽性となる可能性が最も高い理学検査はどれか。

「45 歳の男性。2 か月前から左腰下肢に痛みを感じる。前かがみで痛みが増強する。左足底部の知覚鈍麻、アキレス腱反射は 減弱。間欠跛行はみられない。」

1. FNS テスト
2. ボンネットテスト
3. ゲンスレンテスト
4. アリス徴候

65 はき 28-136 「71 歳の男性。100m の歩行で左下腿後面に絞扼痛 が出現、休息で軽快。仰臥位で両下肢を挙上させ 30 秒足趾を屈伸させると患側足底部が白くなる。SLR テス ト陰性。」

本症例で、症状のある筋の支配神経近傍に刺鍼し、低周波鍼通電療法を行う場合、最も適切な経 穴はどれか。

1. 陰 廉
2. 委 中
3. 足三里
4. 陽陵泉

66 はき 29-87 「 14 歳の男子。サッカー部に入部してから 3 か月が経過した。最近腰部を反らすと腰に痛みが出るようになり来院した。」予想される診察所見はどれか。

1. 体前屈で腰痛が増強する。
2. 体幹回旋で腰痛が増強する。
3. SLR テストは陽性となる。
4. FNS テストは陽性となる。

67 はき 29-88 「 14 歳の男子。サッカー部に入部してから 3 か月が経過した。最近腰部を反らすと腰に痛みが出るようになり来院した。」本症例に特徴的な単純エックス線所見はどれか。

1. 椎間板腔の狭小化
2. 腰椎前弯の消失
3. テリアの首輪
4. 椎体の変形

【解答用紙】

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
31	32	33	34	35	36	37	38	39	40
41	42	43	44	45	46	47	48	49	50
51	52	53	54	55	56	57	58	59	60
61	62	63	64	65	66	67	68	69	70

【解答】

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
2	1	3	4	3	2	3	1	3	4
11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
3	4	2	2	3	2	3	4	3	1
21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
3	2	3	3	4	2	4	3	3	1
31	32	33	34	35	36	37	38	39	40
1	4	1	4	3	1・4	4	4	1	4
41	42	43	44	45	46	47	48	49	50
3	2	4	3	4	4	3	4	2	2
51	52	53	54	55	56	57	58	59	60
3	3	2	1	3	4	3	2	2	3
61	62	63	64	65	66	67	68	69	70
4	3	2	2	2	2	3	---	---	---